

年間指導計画作成にあたって

①年間標準授業時数

保健体育科の年間標準授業時数は、1学年105時間、3年間合計315時間である。

②各分野にあてる授業時数

学習指導要領では、体育分野に267単位時間程度、保健分野に48単位時間程度配当することとされている。

(1) 体育分野

①体育理論

学習指導要領では、体育理論には各学年で3単位時間以上を配当することとされている。「新編 新しい保健体育」体育編における授業時数は、学習指導要領に示された時間に従い、第1学年4単位時間、第2学年4単位時間、第3学年4単位時間とした。

②体づくり運動

学習指導要領では、体づくり運動に、各学年で7単位時間以上を配当することとされている。

③その他の領域

学習指導要領では、「体育理論」「体づくり運

動」以外の領域はすべて、第1学年及び第2学年の間に取り上げることとされている。また、第3学年では、それまでの基礎を踏まえ、いくつかの領域を選択して履修することとされている。

(2) 保健分野

「新しい保健体育」保健編の授業時数は、学習指導要領に示された時間に従い、第1学年12単位時間、第2学年17単位時間、第3学年19単位時間とした。教科書の本文ページは、基本的に1見開きを1単位時間で学習することを想定し、1章あたり1時間の予備時間を設けている。各章末に示した「章末資料」や、「確認の問題」「活用の問題」「学習のまとめ」は、学習を深めたり、知識の定着を図ったりするために活用していただきたい。

③年間指導計画作例

以上の点を踏まえ、A～E案の年間指導計画作例を示した。地域や学校の実態、生徒の興味・関心等に応じた年間指導計画を立てる際の参考にしていただきたい。

表1 各年間指導計画作例の特徴

特 徴	案 (Eは寒冷地用)				
	A	B	C	D	E
同じ時期に扱う領域を、3学年でできるだけ同じにする (授業準備時間の短縮)。	○	○			
連続する2領域の授業時数を合わせ、教師2名が得意種目を分担して指導できるようにする。	○			○	
陸上競技と体育祭の時期を合わせる。	○	○			○
陸上競技 (長距離走) の時期を、秋～冬にする。	○	○			○
体づくり運動と体力テストの時期を合わせる。	○	○	○	○	○
長期休業明けに体づくり運動を行い、からだの調子に気づくことができるようにする。		○		○	
体づくり運動と保健編1章「心の健康」の学習時期を合わせる。					○
水泳と保健編3章「応急手当の意義と方法」の学習時期を合わせる。	○				
年度初めに体育理論を集中して扱い、運動やスポーツについての理解を図る。		○		○	
体育実技の領域については、長期休業前で一つの領域が終了するようにする。	○	○	○	○	○
体育実技の1領域にあてる授業時数は、連続12単位時間以内とする。	○	○			○
体育実技の1領域にあてる授業時数を、比較的長くする。			○	○	
1～2月にスキー・スケートを行う。					○